

特別支援学級 実践事例

校種(学級の種別)	中学校(自閉症・情緒障がい特別支援学級)	本事例の教科等名	自立活動
<p>在籍児童生徒の実態</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の思ったことをすぐに口に出してしまう。 ・相手の気持ちを読みとることが難しい。 ・自分の気持ちを自分の言葉でうまく表現し、伝えることができない。 	<p>目標・指導内容</p>	<p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自分のことや今日の出来事を自分の言葉で表現し、自分の言動を振り返ろう。 <p>【指導内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自分のことや言動を振り返り、自分の気持ちをうまく伝えることができる。
<p>指導の経過・工夫点・子どもの変容</p>	<p>【これまでの取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度からの取り組みで、『サイコロゲーム』(監修者加藤美香)と『トーキングゲーム』(元筑波大学附属大塚特別支援学校 地域支援部長 安部博志 考案)を組み合わせたものを使い、順に自分の番でサイコロを振り、進んだマス目の指示に従って、話す内容が書いたカードを引き、自分の気持ちを伝えた後、自分の好きな動物やものにとっていくすごろく(右上写真)をした。また、相手の顔を見ながら、しっかりと話を聞くことも留意して行った。 ・少しずつ自分の気持ちを表現できるようになってきたが、自分の言葉で文章にすることが苦手であることもわかった。 <p>【指導の過程と子どもの変容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の言葉で文章にすることが苦手であることから、週に2回くらいのペースで交換日記を実施した。 ・下写真のように、『今日の()度』という項目をつくり、5段階で数字を記入していった。日によって、「たのしき度」や「イライラ度」などがあり、今日一日の自分の気持ちや言動を振り返ることができるようになり、意識して言動をするようになった。また、自分の気持ちや言動を自分の言葉で表現し、文章にすることができるようになった。 		
<p>成果と課題・今後の方向</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の気持ちや言動を振り返り、意識して言動をするようになった。また、自分の気持ちや言動を自分の言葉で表現し、文章にすることができるようになった。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の伝えたいことだけを書くので、第三者から見たら内容がつかみにくい。 <p>【今後の方向】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誰が見てもわかるように具体的に書くように指導していきたい。 		